

社会福祉法人の内部監査人(理事・管理者・一般職員)養成講座

<基礎編・実践編4回コース>

非課税措置を死守し続ける社会福祉法人の経営のスタンダードは、「内部統制の有効性を第三者に証明し、日本人が苦手とするPDCAサイクルによる自浄作用が機能していることを証明できる」経営である。

財務会計に係る内部統制と厚生労働省令内部管理体制の有効性を立証し続ける

地域共生社会実現政策の担い手となるための

本部機能強化・内部管理体制構築運用の具体策



講師
HMS 介護・医療・障がい経営戦略指導講師
ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社
代表取締役社長
福祉・介護・医療経営戦略・
社会福祉法人経営戦略コンサルタント

谷本 正徳氏



講師
ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社
福祉・介護・医療経営戦略、
内部統制構築・
内部監査運営コンサルタント

堀内 秀明氏

令和元年
第1回
基礎①
7月16日(火)
PM1:30~PM5:30

令和元年
第3回
実践①
8月20日(火)
PM1:30~PM5:30

令和元年
第2回
基礎②
7月17日(水)
AM9:00~PM4:30

令和元年
第4回
実践②
8月21日(水)
AM9:00~PM4:30

※基礎講座2日間、実践講座2日間の
別々の申し込みも可能です。

会場
銀座同和ビル2F
(セミナールーム)
東京都中央区銀座7-2-22 TEL03-6228-5995

参加料	基礎講座もしくは実践講座のみ参加の場合		
	【税込】	【税抜】	【税】
HMS会員 (法人・個人会員)	69,984円	64,800円	5,184円
(購読会員)	73,872円	68,400円	5,472円
一般	77,760円	72,000円	5,760円
		(資料・飲食代を含む)	(資料・飲食代を含む)

<参加対象>

- ① 会計監査人設置社会福祉法人(→適正に監査を行う会計監査人の場合、内部監査の有効性に言及するのが常識です)
- ② 会計監査人設置社会福祉法人になることが法的に予定されている社会福祉法人
- ③ 役員損害賠償責任リスクの回避のリスクマネジメントを意識する社会福祉法人
- ④ 地域共生社会実現政策の担い手になるため民間資金調達(寄附金募集、民間財団からの助成金調達=)・
ファンドレイジング部門の立ち上げを検討している社会福祉法人

開催のご案内 平成29年4月施行の改正社会福祉法により、社会福祉法人のガバナンスと内部統制(財務会計、リスクマネジメント、監事監査、経営管理、コンプライアンス等)は、特定社会福祉法人を皮切りに、株式上場企業と同レベルに引き上げられています。法人本部指導監査等により行政監督庁に手間をかけさせない社会福祉法人、あるいは役員損害賠償責任リスクを回避する「経営判断の原則」が認定される内部統制レベルを確保するための心臓部は、内部監査部門です。PHJは社会福祉法人に特化した内部監査部門立ち上げ、内部監査担当理事、内部監査室長、内部監査担当職員の養成研修のパイオニアであり、かつ内部監査部門のアウトソーシングのトップランナーたるコンサルティング機関です。新時代に即応した内部監査ノウハウの習得と人材育成に是非、本講座をご活用ください。谷本 正徳

社会福祉法人の内部監査人(理事・管理者・一般職員)養成講座

<基礎編・実践編4回コース>

第1回【基礎①】	7/16 (火)	<p>1. 社会福祉法人に「内部監査」が何故必要なのか(講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人に内部監査機能又は内部監査部門が必要であるロジック～厚生労働省社会・援護局発信 ・社会福祉法人には内部統制の前提がない、ではどうするのか? ・介護に係る資格者は、「マネジメント」、「リーダーシップ」の教育課程は経験していない ・そもそも日本人は内部統制が苦手な理由とその打開策のための内部監査部門の強化 ・内部統制～内部監査の前段階～組織構造と意識構造の教育の必要性 <p>2. 内部監査とは(講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部監査とは～内部監査の国際フレームワークの解説 ・内部監査プロセスの詳細 ・内部監査の実務に対する理解(内部監査プログラムと実践) ・内部監査人の資質と役割 ・内部監査スケジュールの作成 ・内部監査の事前準備、初回会議の進め方 ・内部監査の運営テクニック、最終会議の進め方、内部監査作業文書の作成 ・内部監査実施の手順及びテクニック、内部監査の改善プロセスの理解 									
第2回【基礎②】	7/17 (水)	<p><演習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内部監査に係るチェックリストの作成(演習) 2. 内部監査テーマ(監査重点目標)選定プロセス(講義・演習) 3. 予備調査プロセス(講義) 4. 監査予備調査プロセス(講義) 5. 本監査プロセス(講義) 6. 監査概要報告書作成プロセス(講義) 7. 監査調査作成プロセス(講義) 									
第3回【実践①】	8/20 (火)	<p>1. 内部監査の前提～リスクマネジメントについて</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) リスクマネジメント手法の理解(講義) (2) 法人を取り巻くリスクアセスメント(グループディスカッション) (3) リスクアセスメントに基づく内部監査中長期計画の策定(グループディスカッション) 									
第4回【実践②】	8/21 (水)	<p>1. リスクアセスメントに基づく内部監査中長期計画の完成版発表(各人によるプレゼンテーション)</p> <p>2. 会計監査人対応及財務報告に関する内部監査の実務の理解(講義)</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 全社的内部統制の有効性の監査</td> <td>(2) 固定資産管理プロセス</td> <td>(3) 購買管理(経費計上)プロセス</td> </tr> <tr> <td>(4) 人件費プロセス</td> <td>(5) 棚卸資産管理プロセス</td> <td>(6) 収益認識プロセス</td> </tr> <tr> <td>(7) 決算財務報告プロセス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. 自己点検の進め方(演習)</p> <p>4. ウォークスルーの進め方(演習)</p> <p>5. 整備状況、運用状況の評価方法(演習)</p>	(1) 全社的内部統制の有効性の監査	(2) 固定資産管理プロセス	(3) 購買管理(経費計上)プロセス	(4) 人件費プロセス	(5) 棚卸資産管理プロセス	(6) 収益認識プロセス	(7) 決算財務報告プロセス		
(1) 全社的内部統制の有効性の監査	(2) 固定資産管理プロセス	(3) 購買管理(経費計上)プロセス									
(4) 人件費プロセス	(5) 棚卸資産管理プロセス	(6) 収益認識プロセス									
(7) 決算財務報告プロセス											

お申込み日 月 日

FAX.03-6228-5996

7月16日・17日 8月20日・21日 **社会福祉法人の内部監査人(理事・管理者・一般職員)養成講座<基礎編・実践編4回コース> 申込書**

施設名				<p>●HMS会員の方は下記にチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 法人会員 <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 購読会員</p> <p>●参加料のお振込みは下記をお願いします。 振込先:三井住友銀行 本店営業部 普通預金 7577162 名義:ホケンイリョウフクシサービスケンキュウカイ ※参加料は()月()日に送金します。 ※入金照合のため口座名義を下記にご記入下さい。 振込名義()</p>					
住所	〒	TEL	() ()					FAX	() ()
	e-mail								
参加者氏名		所属						役職	
						<input type="checkbox"/> 4日間コース <input type="checkbox"/> 基礎講座のみ <input type="checkbox"/> 実践講座のみ			
※希望の方は <input type="checkbox"/> を付けてください。 <input type="checkbox"/> 4日間コースCD受講希望 <input type="checkbox"/> 基礎講座のみCD受講希望 <input type="checkbox"/> 実践講座のみCD受講希望 <input type="checkbox"/> 無料個別相談									